



平成17年2月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成16年12月24日

上場会社名 **株式会社オークワ**

コード番号 8217

(URL <http://www.okuwa.net>)

代表者 代表取締役社長 大桑 啓嗣

問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 横山 勝彦

上場取引所 東証・大証第一部

本社所在都道府県 和歌山県

TEL : (073) 425 - 2481

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 税効果会計及び法人税等の計上基準等において簡便な方法を採用しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結(除外) 1社 持分法(新規) 1社

(内容) 前期まで連結子会社でありました(株)オー・エンターテイメントについては、株式の売却により持分比率が低下したため、持分法適用の関連会社となりました。

2. 平成17年2月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年2月21日 ~ 平成16年11月20日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(単位: 百万円未満切捨)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年2月期第3四半期	168,823	-	3,683	-	3,603	-	1,633	-
(参考) 16年2月期	229,702		6,930		6,724		3,626	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年2月期第3四半期	37	91	-	
(参考) 16年2月期	82	27	-	

(注) 当四半期より四半期実績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益が回復基調になり民間設備投資も上向きつつありましたが、原油価格の高騰など先行き不透明感が強く、個人消費の本格回復には至りませんでした。

小売業界におきましては、同業他社や専門店等との競争激化が進み、また平均気温の高温推移、度重なる台風の影響もあり、依然として非常に厳しい経営環境が続いております。

このような状況のなかで当社グループは、スーパーマーケット事業において、当第3四半期中に貝塚三ツ松店ほか3店の新規出店を行いました。また、既存店については、吉備店を当社の次世代業態となるスーパーセンターオークワ吉備店として増床改築し、西浜店ほか10店を可能な限り経費を抑え『毎日いつでもこの価格』をキーワードにEDLP(エブリデイ・ロー・プライス)を実現した『プライスカット』へ業態変更いたしました。

また、外食事業においては、当第3四半期中に既存店4店を新業態の外食専門店へ業態変更を行いました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期の連結営業収益(売上高及び営業収入)は1,688億23百万円、連結営業利益36億83百万円、連結経常利益36億3百万円、連結四半期純利益16億33百万円となりました。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年2月期第3四半期	126,705	60,759	48.0	1,418 92
(参考)16年2月期	123,964	60,931	49.2	1,402 32

(注) 当四半期より四半期実績の開示を行っているため、前年同四半期の実績については記載しておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年2月期第3四半期	6,791	2,625	2,192	6,046
(参考)16年2月期	9,674	9,350	2,519	4,726

(注) 当四半期より四半期実績の開示を行っているため、前年同四半期の実績については記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高と比べ、19億72百万円増加し、連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額が6億53百万円あったことにより、60億46百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は67億91百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が33億12百万円、非資金損益項目の減価償却費が38億57百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は26億25百万円となりました。これは主として新規出店及び店舗改装等に伴う固定資産の取得による支出が38億44百万円あった一方、敷金・保証金の返還による収入が13億19百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は21億92百万円となりました。これは主として短期借入金の純増加額が42億80百万円、長期借入れによる収入が20億円であった一方、長期借入金の返済による支出が65億31百万円あったことによるものであります。

3. 平成17年2月期の連結業績予想（平成16年2月21日～平成17年2月20日）

平成16年10月8日の中間決算発表時の通期業績予想から変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

(要約) 連結貸借対照表

科 目	期 別	当第3四半期末 (平成16年11月20日現在)		(参考)前連結会計年度 (平成16年2月20日現在)	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金		6,817		5,498	
受取手形及び売掛金		653		554	
たな卸資産		9,566		9,857	
その他		2,513		2,290	
流動資産合計		19,551	15.4	18,200	14.7
固定資産					
有形固定資産		77,341		74,996	
無形固定資産		4,836		4,897	
投資その他の資産		24,976		25,870	
固定資産合計		107,154	84.6	105,764	85.3
資産合計		126,705	100.0	123,964	100.0
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金		14,234		10,409	
短期借入金		20,120		16,690	
1年以内返済予定長期借入金		2,647		3,867	
その他		13,286		12,608	
流動負債合計		50,287	39.7	43,575	35.1
固定負債					
長期借入金		6,518		9,837	
退職給付引当金		883		1,086	
その他		8,257		8,533	
固定負債合計		15,658	12.3	19,456	15.7
負債合計		65,946	52.0	63,032	50.8
(少数株主持分)					
少数株主持分		-	-	-	-
(資本の部)					
資本金		14,117	11.1	14,117	11.4
資本剰余金		14,027	11.1	14,027	11.3
利益剰余金		35,290	27.9	34,667	28.0
その他有価証券評価差額金		313	0.2	158	0.1
自己株式		2,989	2.3	2,039	1.6
資本合計		60,759	48.0	60,931	49.2
負債、少数株主持分及び資本合計		126,705	100.0	123,964	100.0

(要約) 連結損益計算書

科 目	期 別	当第3四半期 (自 平成16年2月21日 至 平成16年11月20日)		(参考)前連結会計年度 (自 平成15年2月21日 至 平成16年2月20日)	
		金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
[営 業 収 益]		[168,823]		[229,702]	
売 上 高		162,243	100.0	220,142	100.0
売 上 原 価		119,104	73.4	160,448	72.9
売 上 総 利 益		43,139	26.6	59,693	27.1
営 業 収 入		6,579	4.0	9,559	4.4
不 動 産 賃 貸 収 入		1,849		2,457	
そ の 他 の 営 業 収 入		4,730		7,102	
営 業 総 利 益		49,718	30.6	69,253	31.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		46,035	28.3	62,322	28.4
営 業 利 益		3,683	2.3	6,930	3.1
営 業 外 収 益		408	0.2	545	0.3
受 取 利 息		33		61	
そ の 他		374		484	
営 業 外 費 用		488	0.3	752	0.3
支 払 利 息		320		488	
持 分 法 に よ る 投 資 損 失		39		70	
そ の 他		127		193	
経 常 利 益		3,603	2.2	6,724	3.1
特 別 利 益		106	0.1	1,647	0.7
退 職 給 付 制 度 の 変 更 に 伴 う 利 益		-		1,576	
そ の 他		106		71	
特 別 損 失		397	0.3	1,687	0.8
固 定 資 産 売 却 損 及 び 除 却 損		148		1,063	
そ の 他		249		623	
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益		3,312	2.0	6,685	3.0
法 人 税 等		1,678	1.0	3,058	1.4
四 半 期 (当 期) 純 利 益		1,633	1.0	3,626	1.6

(要約) 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	期 別	当第3四半期 (自 平成16年2月21日 至 平成16年11月20日)	(参考)前連結会計年度 (自 平成15年2月21日 至 平成16年2月20日)
		金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益		3,312	6,685
減価償却費		3,857	5,277
退職給付引当金の減少額		174	2,559
受取利息及び受取配当金		59	75
支払利息		320	488
売上債権の増加額		106	213
たな卸資産の増加額		1,457	608
仕入債務の増加額		1,984	512
その他		1,791	3,336
小計		9,468	12,843
利息及び配当金の受取額		59	75
利息の支払額		341	469
法人税等の支払額		2,395	2,775
営業活動によるキャッシュ・フロー		6,791	9,674
投資活動によるキャッシュ・フロー			
固定資産の取得による支出		3,844	9,942
敷金・保証金の差入による支出		370	573
敷金・保証金の返還による収入		1,319	1,409
その他		269	244
投資活動によるキャッシュ・フロー		2,625	9,350
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額		4,280	480
長期借入れによる収入		2,000	3,700
長期借入金の返済による支出		6,531	4,252
配当金の支払額		991	880
その他		949	606
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,192	2,519
現金及び現金同等物に係る換算差額		-	-
現金及び現金同等物の増減額		1,972	2,195
現金及び現金同等物の期首残高		4,726	6,922
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		653	-
現金及び現金同等物の期末残高		6,046	4,726

営業収益の状況

			当第3四半期 (自 平成16年2月21日 至 平成16年11月20日)		(参考)前連結会計年度 (自 平成15年2月21日 至 平成16年2月20日)	
			金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
売上高	小売事業	スーパーマーケット事業	156,895	92.9	210,435	91.6
		(内訳) 食料品	111,603	66.1	147,040	64.0
		衣料品	9,173	5.4	13,362	5.8
		住居関連用品	22,679	13.5	31,925	13.9
		テナント	11,871	7.0	16,134	7.0
		その他	1,568	0.9	1,972	0.9
	その他の小売事業	3,271	2.0	6,512	2.8	
	小計	160,166	94.9	216,948	94.4	
	その他の事業	2,076	1.2	3,193	1.4	
	計	162,243	96.1	220,142	95.8	
営業収入		不動産賃貸収入	1,849	1.1	2,457	1.1
	その他の営業収入	配送受託手数料	2,776	1.7	3,196	1.4
		レンタル収入	1,048	0.6	2,032	0.9
		ジスト事業部収入	725	0.4	1,496	0.6
		その他	179	0.1	376	0.2
	小計	4,730	2.8	7,102	3.1	
	計	6,579	3.9	9,559	4.2	
合計			168,823	100.0	229,702	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 売上高の「小売事業」の「その他の小売事業」については、主に書籍等の売上高を記載しております。

3. 売上高の「その他の事業」については、主に外食事業の売上高を記載しております。

4. 営業収入の「その他の営業収入」の「ジスト事業部収入」は、映画興行収入、スポーツクラブ収入及びボウリング場等施設利用料収入であります。

5. 従来、連結子会社であった㈱オー・エンターテイメントは、当上半期末に支配を解消いたしましたので、当第3四半期の数値には上半期(平成16年2月21日～平成16年8月20日)までの同社営業収益が含まれておりません。